

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター(JICE)



Topics

行政官交流会が開催されました

JDSフィリピンから、JDS運営委員会のメンバーが来日しました

JDS留学生在広島県の竹原中学校を訪問しました

世界の朝ごはん：ケニア

行政官交流会が開催されました

2022年11月から2023年1月にかけて、JDS留学生と日本の行政官との交流会を合計9省庁で開催しました(計10回)。コロナ禍を経て約3年ぶりに対面での交流会が復活し、全体の約半数を対面形式で開催することができました。分野ごとにテーマを設定し、日本側からの事例紹介と意見交換を組み合わせ実施しました。

交流会は主に省庁内で実施となりましたが、法務省のように、都内の昭島市にある国際法務総合センター/国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)にて交流会を開催し、施設見学や座談会を行った省もありました。



環境省の担当者による講義

参加者からは、「農林水産省では、日本のスマート農業が生産性の向上に寄与しているという説明が興味深かった。開発途上国への技術の応用が期待できる」、「私達は環境保全・改善という共通の課題を持ち合わせており、環境省との交流会は貴重である」、「国際法務総合センターのような政府の施設を訪問するのは初めてで興味深かった」などのコメントが寄せられました。

行政官交流会を通して、JDS対象国と日本の懸け橋となる人材の育成、分野別の相互理解や長期的な友好関係の構築がますます期待されます。



UNAFEIをバックに

フィリピンから JDS運営委員会のメンバーが来日しました



東京近郊学生と座談会后、JICE本部にて

2022年11月13日から19日までの間、JDSフィリピンではモニタリングミッションが実施されました。

フィリピンから運営委員会メンバーである国家経済開発庁の代表者2名が来日し、受入大学である明治大学、名古屋大学、神戸大学、国際大学を訪問し、大学の教員と職員および滞日中のJDS留学生達と意見交換を行いました。

本ミッションの参加者は、受入大学および日本側関係機関を訪問し、関係者へ直接ヒアリングを行うことで、JDS事業への理解を深めると共に、日本での留学生の様子と大学の施設や受入れ体制を実際に見学することができました。

今回の訪日で得られた知識とネットワークが、今後のJDSフィリピンの事業運営に反映されることが期待されます。

JDS留学生が広島県の竹原中学校を訪問しました

コロナ禍の中、直接対面で交流をする機会が限られていましたが、12月2日、広島大学で学ぶJDS留学生が広島県竹原市竹原中学校を訪問する機会を得ることができました。

参加希望者が多い中、JDS留学生6名(バングラディシュ3名、カンボジア3名)が参加しました。参加した留学生の自己紹介の後、グループに分かれて、日本の伝統的なお正月の遊びである福笑いや習字の体験、凧制作を通して交流を深めました。



福笑い体験

また、留学生は母国の紹介も行いました。中学生からは「それぞれの国や地域によって異なる文化や食べ物などがあった。もっと世界の国々について知りたいと思った」、との感想が発表されました。

JICA研修員の学校訪問プログラムの紹介

JICA中国では世界各国から毎年400名以上の研修員を受け入れています。児童・生徒、教員の皆様にとって開発途上国や異文化に触れて、知って、考えるきっかけとなるよう、またJICA研修員にとって日本社会・学校教育を体験し、理解を深めるきっかけとなるよう、JICA研修員が中国地方の幼稚園・小・中・高校・特別支援学校を訪問して直接交流する学校訪問を実施しています。



今回は、東アフリカに位置する野生動物の宝庫、ケニアで愛されている朝ごはんをご紹介します。JDSにも2020年からケニアが仲間入りし、現在18名のケニア人留学生達が日本で学んでいます。

nyama choma ニヤマチョマ

スワヒリ語で、ニヤマ=肉、チョマ=焼く。つまりケニア風焼肉です。牛、鶏、ヤギなどの大きな肉の塊を炭火でじっくりと焼き、塩のみで味付けしたものに、ケニアの主食ウガリ（トウモロコシ粉をお湯で練ったもの。柔らかくもちっとして腹持ちバツグン）、ケール、サラダ（トマトと玉ねぎに唐辛子がかかったもの）とセットでいただきます。日本人としては、白いご飯を片手にいただいてみたいですね！



Mandaji マンダジ

サモサやチャパティーなどもありますが、マンダジはケニアの人がよく食べる代表的な朝ごはんの1つです。日本の揚げパンによく似た料理で、外はカリカリ、中はふわふわ、世代問わず愛されるご飯です。甘みを出すためココナツミルクを入れたものもあります。おやつには粉糖やシナモンシュガーをかけて、チャイのお供にピッタリだそうです。

ケニアはとにかく新鮮な果物が豊富で美味しく、甘く濃厚な作りたてのフレッシュジュースも手軽に楽しむことができるそうです。お店によっては自分で選んだ果物でオリジナルジュースを作ってくれるとか。朝からビタミンチャージ、元気が出そうですね！

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

5,410名 21カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2021年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

＜事業実施国＞※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2021年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本では専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、様々な場面で活躍しています。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、JDSの運営委員会メンバーが訪日するモニタリングミッションは2020年より実施できませんでしたが、2022年の夏より、フィリピンを含む6カ国から運営委員会メンバーをお迎えすることができました。

メンバーの中には、日本滞在中に「日本ファン」になった方も多く、こういった機会がとても重要であることを改めて実感しました。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.PR@jice.org

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による JICA 留学生受入支援事業です。